



2021年度主題 「福音の希望を持ち続けよう」

主題聖句 **ただ揺るぐことなく信仰に踏みとどまり、あなたがたが聞いた福音の希望から離れてはなりません。この福音は、世界中至るところ人々に宣べ伝えられており、わたしパウロは、それに仕える者とされました。**
コロサイ1:23

主の御名を賛美いたします。関東部会ははじめ同盟に連なる全国の諸教会伝道所協力団体の皆様に平安がありますように。2021年度もコロナ感染拡大の影響下にあり、皆様におかれまして、緊張と先の見えない不安の中で過ごされたと思います。教会も学校も、集まることや交わりを持つことを自粛させられ、そのことによる弊害が徐々に実感させられてきています。また私たちはこの間、感染症ばかりでなく世界中で起きている力による人権侵害と深刻な対立を経験し、心を傷め続けてきました。人と人を隔てるこの悪魔的な力が確かにこの世にはある、ということを実感させられております。しかしこの時こそ私たちは、みことばから力と希望を確信したいと思うのです。主題聖句の前段で、パウロは「神は御子の十字架によって平和をもたらした」と言い、「神は御子によって万物を和解させることを良しとされた」と語っています。それはすなわち「罪人であった私たちが神様と和解させられ、神の御前に立つものとされたからである」というのです。この世には悪があります。しかし今こそ、神の子とされた私たちがこの世の悪によって苦しめられている人々のために、その解決のために神様に執り成しの祈りをささげる役割を与えられているのです。このことにしっかりと目覚めるためにパウロは「揺るぐことなく信仰に踏みとどまり、福音の希望から離れてはなりません」と勧めています。この希望は個人的なものではありません。世界全体が福音のもとに導かれ、神様の御支配(神の国)となりますように。救い主イエス・キリストの御名によって祈ります。

(部会委員長 清水美穂)

2021年度第3号です。拙い編集作業ですがみなさまからの原稿を最初
に読ませていただけたという恵みをいただいています。

まだまだ、というかすっかりwithコロナの生活となつてしまいましたが
その中でもそれぞれの教会が工夫次第で新たな希望を見出していく様子が
垣間見え、励まされます。

(担当:鈴木敦子)



JB誌4月の賛美歌より
「イエスさまよみがえられたイースター」
作詞・作曲 田村義明

金沢文庫キリスト教会

金沢文庫キリスト教会は、横浜の南の端、鎌倉・逗子に隣接した金沢区の丘の上にあります。近くには横浜市立金沢自然公園・動物園があり、自然環境に恵まれたこの地に



2018年新会堂が与えられました。①礼拝出席者は20名前後で、大半が高齢者です。男性が多く、卒寿を迎えた男性を筆頭に主に導かれるまま、熱心に礼拝を捧げています。②CSは、10人前後で男児が多く、今年成人した新人スタッフも与えられ活気に溢れています。③週日の集会には、水曜日「キリスト教入門講座」と木曜日「讚美歌を歌おう会」があります。キリスト教信仰をより深く理解し、信仰の成長に与ることを目的とする学びの場です。共にテキストを読み意見交換をしています。発見に満ちていて、何よりも楽しい集会で10名前後が毎週笑顔で集まっています。讚美歌を歌おう会の参加者も10名余り、ラジオ体操と誤嚥予防体操後、讚美歌の作詞作曲者や作られた背景、さらに歌詞の出典である聖書を学んで賛美の練習をしています。歌詞の理解を深めて賛美することの大切さをしみじみと教えられ、賛美練習の時は感動の中に流れて行きます。故白根新治牧師の「祈りの家」(1957年)に始まった教会として、確かな信仰と祈りの継承を一同心から祈り願っています。(羽入田悦子)



聖路教会

聖路教会では、コロナ禍に入ってからでも会堂での礼拝を守り続けています。出席が難しい方の要望を受けて2021年7月からズーム併用での礼拝環境を整備し、更に必要な状況下では教会学校にも展開しています。2階に礼拝堂がありますが1階集会室にもPCを置き、当初タブレット端末を使用していた礼拝中継もズームに切り替え、車椅子の教会員も1階で共に礼拝を守っています。



コロナ前に比べ礼拝出席者は2割ほど減りました。これはコロナの影響を含めて一人一人の状況の変化が理由としてあります。継続した祈りの課題です。

そうした中で、限られたメンバーでも戸田牧師を支え、祈りつつ知恵を出し合い礼拝や様々なプログラムを守っています。

アドヴェント第1週にクリスマスコンサートを開いたり、CSの子供達と保護者も交えて



ご降誕の物語を朗読劇にして実施し「参加する」意識をもつていただけるようにと工夫しています。(また、同じ金沢区内にある関東学院教会、金沢文庫キリスト教会とはここ3年ほど、クリスマス聖日礼拝後に合同キャロリングを各教会最寄りの3つの駅前にて行なっています。)(井原裕一)

運河キリスト教会

コロナ禍で、それぞれが大変な状況に置かれてはいますが、毎週の礼拝を続けられていることに感謝します。教会員の中には教会に集うことも難しい方もおられ、LINEでの礼拝配信を通して共に礼拝をささげています。1日も早いコロナウイルスの終息を願い、また共に教会に集い礼拝できることを祈り過ごしています。

運河教会では、コロナ禍において何かできることはないかと考え、教会案内に礼拝メッセージを差し込んで地域に配ることを始めました。後ろ向きに思える中で「折が良くも、悪くも」(Ⅱテモテ4:2)み言葉を語り続けて

いこう、暮らしを支えるいのちの言葉を届けようと新しい志しを与えられました。9月から始まったこの試みで、何人かの方が教会に足を運んでくださいました。いま置かれている状況の中でみ言葉がしっかり届けられている、神さまの導きを改めて実感させられています。(丸山大二郎)



日本バプテスト厚木教会

2019年に久保親哉牧師をお迎えし、2021年から山下ジョセフ伝道師が就任。若い世代の礼拝出席者が増え、とても元気な厚木教会です。現在は、まん延防止措置期間中のため、「会堂に集う礼拝」は最低限の奉仕者のみで行い、礼拝はYoutube、Facebookを通して生配信しています。事前に週報と説教をメール送信し、メールを使わない方には、週報・説教・前週の礼拝録音CDを郵送しています。礼拝の配信は、遠くに転居された方やしばらく教会から離れていた方が再び教会につながるという恵みをいただきました。



よりよい映像や音響で配信するために、若い男性陣が日曜の午後や土曜日の夜遅くまで、配線工事等の作業を担ってくださり感謝しています。

教会学校もまん延防止期間中は配信礼拝ですが、昨年10月に「焼き芋会」と12月に「クリスマス祝会」を行うことができ、多くの子ども達と楽しい恵みの時を過ごしました。

イースターには教会に集って喜びの礼拝ができることを祈り願っています。

(佐藤惇子)



教会HP



Youtubeチャンネル

関東学院教会

コロナ危機が長く続き、教会の礼拝や宣教も大きな影響を受けています。2020年度は大学礼拝堂を使用できず、教会創立75年になる節目の一年間を追浜チャペルで礼拝を続けました。2013年に大学キャンパスの外に教会施設として追浜チャペルを献堂しましたが、まさに「主の山に、備えあり」(創22:14)だったと、神の導きに改めて感謝しています。

20年3月から礼拝のライブ配信も開始し、毎週の教会学校、主日礼拝、夕礼拝、祈祷会を公開しています。21年4月に教会ホームページを再開して、礼拝案内や教会の方々の証しなども掲載し、特伝やクリスマス行事も試みました。宣教の方法は広がりましたが、主にある交わりは人と人の出会いが大切だということも実感させられています。この時だからこそ神の慰めや恵みを必要とする人に会えるよう祈っています。21年1月下旬から、三度目になりますが、礼拝への参集を控えてオンライン配信で行っています。



教会HP

(22年2月現在)

(高橋彰)



Youtubeチャンネル

～ 新年礼拝に参加して ～

2022年1月10日(月・祝)

今年度の関東部会新年礼拝では、司会を仰せつかり、心の余裕がなかったのですが、分かち合いの時間で、5名の方々から近況をお聞きすることができました。その中で、教会で成人式が行われたお話をお聞きしました。関東部会ファミリーキャンプに参加していたお子さんが、成人になられたこと驚きましたが、一緒に過ごしたキャンプの思い出がよみがえってきました。

コロナの終息と、2023年度の新年限拝は関東部会の皆さまと対面で礼拝ができるようにと願っています。

久保園和行(東京平和教会)

